

# 共働き育児における乳幼児期の保育形態の影響

加藤 翠 (日本女子大学)  
田辺 陽子 (日本女子大学)  
金崎芙美子 (宇都宮大学)  
岡崎比佐子, 石川 洋子 (東京成徳短期大学)

## 目的・方法

母親が就労する場合でも、3歳未満児は家庭で母親が育てるのが望ましいという考えが、わが国の社会一般に根強いことは、本研究班の56年度の調査においても明らかにされたところである。本年度は学齢前に母親が働いていて成人（一応18歳以上）に達した対象者の中で、3歳未満集団保育体験者の特徴を、質問紙法によって調査検討した。

## 結 果

学齢前に母親が働いていて高卒以上の年齢段階に達した対象者185名の中、3歳未満集団保育体験者（以後S群とよぶ）は16名（8.6%）、3歳以後に保育所に入所した者（以後H群とよぶ）は52名（28.1%）、幼稚園に入園した者（以後Y群とよぶ）117名（63.2%）の割合であった。ちなみに昭和39年の保育所入所児の3歳未満児の割合は、4.8%であった。

対象者の性比は男98名、女87名、平均年齢は23.2歳である。

対象者および父母の学歴は表1のようであって、いずれの群についても対象者は父母よりも高学歴傾向にあり、父母と本人との学歴の間には正の相関が認められ、三群の中ではYが最も学歴の高い者が多い傾向がみられた。S群はH群と比較し、やや学歴の高い者の割合が多いようであった。

対象者の父母の職業は表2のようであって、S群は

父母共に教員、公務員、保母（福祉）などの安定した職種が、H群およびY群に比し多い傾向がみられ、父親では会社員、母親ではパートといった職種の割合が少ない傾向がみられた。

家庭および父母の状況について14項目の質問項目を、5段階評定してもらった結果、S群は他の二群に比し、父母はむつまじく、教育熱心な傾向にあったが、親戚つき合いが少なく、家族での外出や旅行の機会が少ない家庭状況が認められた。

このような家庭で育った事に対する満足度を、就学前・小学校低学年・小学校高学年・中学校・現在の年齢段階のそれぞれにつき、5段階評定してもらった結果、全体としては年齢がすすむにつれ共働き家庭で育てられていることに対する満足度が高くなって来ている。しかしS群は他の二群に比し、学齢前における満足度が有意に高く、小学校低学年で不満に傾いているという、特殊な形をとっていた。この事は、わが国の保育施策が学齢前に集中し、子どもが小学生になると無策に近くなっていることと、関係があるのかもしれないと思われた。

また対象者に、母親の就労の是非を一般論として質問した結果は表3のようで、いずれの群も30%余の人人は、非常に良い・良いことが多いと肯定的評価をしたものの、悪いことが多いという否定的評価をしたものは、S群に最も多かった。

表1 対象者および父母の学歴

%

| 学 歴    | 対 象 者 |       |       | 対象者の父 |       |       | 対象者の母 |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | S群    | H群    | Y群    | S群    | H群    | Y群    | S群    | H群    | Y群    |
| 中卒     | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 12,5  | 21,2  | 11,1  | 25,0  | 26,9  | 18,9  |
| 高卒     | 0,0   | 1,9   | 2,5   | 43,8  | 44,2  | 31,6  | 37,5  | 46,2  | 43,8  |
| 短大在・卒  | 0,0   | 5,8   | 1,8   | 0,0   | 0,0   | 0,9   | 12,5  | 1,9   | 4,9   |
| 専門在・卒  | 43,8  | 38,4  | 25,6  | 6,3   | 0,0   | 2,6   | 6,3   | 0,0   | 6,5   |
| 大学在・卒  | 50,0  | 48,2  | 65,8  | 25,0  | 15,4  | 37,6  | 12,5  | 9,6   | 15,7  |
| 大学院在・卒 | 6,2   | 5,7   | 4,3   | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 0,0   |
| その他    | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 12,6  | 19,2  | 16,2  | 6,3   | 15,4  | 10,2  |
| 合 計    | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 |

表2 父母の職業

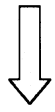
%

| 職 業  | 父 親   |       |       | 母 親   |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      | S群    | H群    | Y群    | S群    | H群    | Y群    |
| 教員   | 12,5  | 5,8   | 7,7   | 25,0  | 13,5  | 21,4  |
| 医療   | 6,3   | 0,0   | 5,1   | 6,3   | 1,9   | 7,7   |
| 公務員  | 25,0  | 11,5  | 15,4  | 6,3   | 7,7   | 6,8   |
| 商業   | 6,3   | 9,6   | 10,3  | 6,3   | 9,6   | 15,4  |
| 農業   | 0,0   | 5,8   | 4,3   | 0,0   | 9,6   | 4,3   |
| 技能職  | 12,5  | 7,7   | 11,1  | 6,3   | 3,8   | 6,8   |
| サービス | 0,0   | 1,9   | 5,1   | 6,3   | 7,7   | 6,8   |
| 金融   | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 6,3   | 0,0   | 1,0   |
| 会社員  | 25,0  | 48,1  | 34,2  | 18,8  | 19,2  | 14,5  |
| パート  | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 6,3   | 19,2  | 9,4   |
| 福祉   | 0,0   | 0,0   | 0,0   | 12,5  | 0,0   | 1,0   |
| その他  | 12,5  | 9,6   | 6,8   | 0,0   | 7,7   | 5,1   |
| 合 計  | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 | 100,0 |

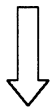
表3 母親の就労の是非

%

|           | S群    | H群    | Y群    |
|-----------|-------|-------|-------|
| 非常に良い     | 12.5  | 7.7   | 14.5  |
| 良いことが多い   | 18.8  | 25.0  | 29.1  |
| どちらともいえない | 43.7  | 59.6  | 50.4  |
| 悪いことが多い   | 25.0  | 7.7   | 3.4   |
| 非常に悪い     | 0.0   | 0.0   | 1.7   |
| 合計        | 100.0 | 100.0 | 100.0 |



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



#### 目的・方法

母親が就労する場合でも、3歳未満児は家庭で母親が育てるのが望ましいという考えが、わが国の社会一般に根強いことは、本研究班の56年度の調査においても明らかにされたところである。本年度は学齢前に母親が働いていて成人(一応18歳以上)に達した対象者の中で、3歳未満集団保育体験者の特徴を、質問紙法によって調査検討した。